

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

拠点校Ⅰ

(南相馬市立鹿島中学校)

実践の具体的な内容

取組による成果

- 小学校と連携し、帯活動としてTopic Talkを行い、既習事項を活用しながら相手の質問に答えて対話を継続する態度の育成を図った。
- 授業に計画的に言語活動や確認問題を位置づけたことで、発信力の向上と知識・技能の定着を図った。
- 小学校とCAN-DOリストを共有し、共通理解を図るとともに、CAN-DOリストを段階的に活用することで、単元の最終目標を明確にすることができた。

- Topic Talkを継続したことで、基本的な話し方や相づちの仕方が定着し、対話を継続できる生徒が少しずつ増えてきた。
- 言語活動や確認問題、単元テストにつながりをもたせることで、重要な文や語句の定着率が上がり、発信力の基礎が身に付いた。
- CAN-DOリストを段階的に活用することで、前時と比較し、自分の振り返りをすることができた。

拠点校Ⅱ

(南相馬立鹿島小学校)



実践の具体的な内容

取組による成果

- 既習事項を用いて、対話を続ける力
  - 中間指導を取り入れ、繰り返し言語活動を行う
- 活動に意欲的に取り組み、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成
  - 明確な「目的・場面・状況」の設定
- 小中の連続性を意識した授業づくりの実践
  - 中学校とCAN-DOリストの共有
  - 互見授業の実施

- 中間指導を取り入れることで、対話が少しずつ継続できるようになった。
- 実際に目的や場面に応じた言語の運用を考えることで、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成することができた。
- 単元の目標がより明確になり、児童と授業のねらいを共有することで、指導に役立った。
- お互いに授業を参観することで、小中の連携を一層重視し、学習活動を行うことができた。

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

<p>協力校 (南相馬市立八沢小学校)</p>	<p>実践の具体的な内容</p>	<p>取組による成果</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 児童の英語で話したいという気持ちと既習事項を駆使した対話を継続する力の向上 → 拠点校Ⅱや協力校同士での交流授業の実施</li> <li>□ 児童の学習意欲向上と、学習内容の定着 → ICTの効果的な活用</li> <li>□ 鹿島区内小学校同士の連携体制の構築 → 拠点校ⅡとCAN-DOリストの共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 拠点校Ⅱや協力校同士で交流授業を行うことで、お互いに学習意欲が刺激され、相手意識や目的意識を持って、対話を続けようとする姿が見られた。</li> <li>○ ICTの活用を工夫することで、児童は自信を持ってコミュニケーションを図ることができた。</li> <li>○ CAN-DOリストを共有することで、鹿島区内で共通理解を図りながら学習を進めることができた。</li> </ul>
<p>協力校 (南相馬市立上真野小学校)</p>	<p>実践の具体的な内容</p>	<p>取組による成果</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 児童の英語で話したいという気持ちと既習事項を駆使した対話を継続する力の向上 → 協力校同士での交流授業の実施</li> <li>□ 児童の学習意欲向上と、学習内容の定着 → 目的・場面・状況を設定した言語活動を繰り返し行う</li> <li>□ 鹿島区内小学校同士の連携体制の構築 → 拠点校ⅡとCAN-DOリストの共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交流授業の実施により、お互いに刺激を受け、積極的にコミュニケーションを行う機会となった。</li> <li>○ 目的・場面・状況を設定した言語活動を繰り返し行うことで、児童が学習に意欲的に取り組むことができた。</li> <li>○ CAN-DOリストを共有することで、鹿島区内で共通理解を図りながら学習を進めることができた。</li> </ul>